

みぢかな歴史のつむぎかた

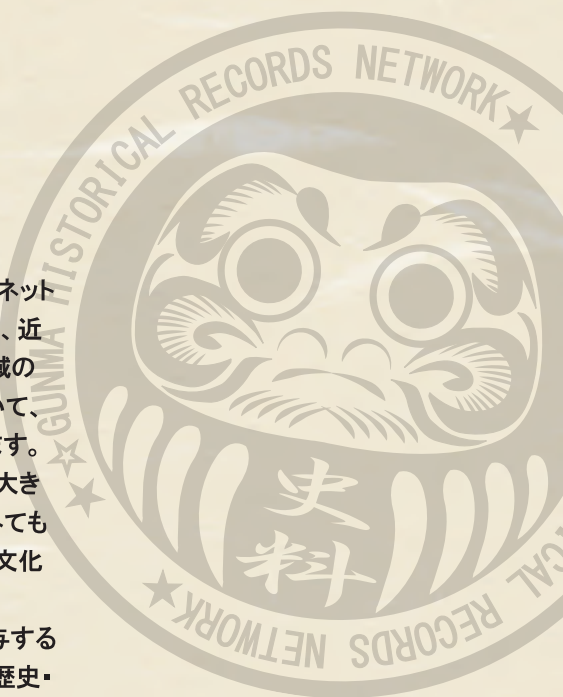
自治体史編纂へ向けた大字誌の可能性

2023年

2月26日 日

13:30~17:00

- オンラインで開催
- 定員100名
- 参加費無料



本フォーラムは、群馬県立女子大学群馬学センターに拠点を置く群馬歴史資料継承ネットワーク(ぐんま史料ネット)が活動計画に位置づけている大字誌活動の可能性について、近年の自治体史編さんの状況から探るものです。大字誌活動と自治体史編さんは、「地域の歴史」を住民へ普及するという共通の目的を掲げています。また、双方の取組みにおいて、文化財保護の担い手不足など史料保存における課題についても共有していると言えます。

自治体史は、時代史を軸に地域の歴史を網羅的に整理したことで、地域史の研究に大きな貢献を果たしてきました。通史編とともに刊行される資料編は、史料保存の観点でもそれぞれ自体が貴重な記録であり、自治体史編さんによる史料調査・収集の蓄積は、地域文化遺産の防災の前提となる成果といえます。

一方、大字誌活動は、地域に残る文化遺産を住民とともに拾い上げ、その継承に寄与する活動です。そこでは、「地域の歴史」が専門家の押し売りとならないよう、住民と協働で歴史・文化の掘り起こしが行われています。近年、このような大字誌活動の手法が自治体史編さん事業に取り入れられつつありますが、そこでは何が目指されているのでしょうか。

今回のフォーラムでは、本ネットの大字誌活動について共有するとともに、自治体史編さんの取組みを参考に、大字誌活動の可能性を考えます。さらに、自治体史編さん事業を行っている県内の自治体を交え議論することをとおして、史料ネット・自治体・そして住民それぞれの目線で、「みぢかな歴史をつむぐ」ことの意義とその未来を模索しましょう。

- ▶ **開会** 13:30 挨拶・趣旨説明
- ▶ **報告** 13:40 『大字誌・角淵』の取組み
片山壹晴 氏(玉村歴史塾)
- 14:10 東上野町公民館所蔵文書保存・調査の
取組みからはじまる大字誌
野口華世 氏・池田義久 氏
(ぐんま史料ネット/前橋市東上野町)
- 14:50 新三木市史地域編の試み
廣井愛邦 氏(三木市史編さん室)
- 15:20 『尼崎市史』及び『紀要』の編さんと史料の「活用」
河野未央 氏(尼崎市立歴史博物館)
- ▶ **トークセッション**
- 16:00 自治体史編さんへ向けた大字誌の可能性
- ▶ **閉会** 17:00

申し込み方法

参加希望者は2月22日(水)までに、下のQRコードから参加申し込みフォームにアクセスし、氏名・住所・メールアドレス・書籍の希望有無等を入力して参加者登録を行ってください。

<https://forms.gle/JRyDjrkD4BgwzDL8A>



参加方法

参加を承認した申し込み者には、後日「接続方法」・「参加上のルール」、及び「講演・報告資料」をメールで送付します。参加登録者はその案内に従って当日サインインして参加してください。